

安全作業手順書【導水樋設置、清掃作業】

作成日・ 改正日	2025/4/1 (前回改正：2024/4/1)	現場名	東名高速道路（豊田IC～春日井IC） 名古屋第二環状自動車道 （名古屋IC～飛島北IC,有松IC～上社JCT）
機器工具 ・車両	インパクトドライバー、振動ドリルドライバー、サンダー、発電機、 高所作業車、2t材料車、夜間照明、清掃用具一式	保護具	ヘルメット、安全チョッキ、安全くつ、安全帯 保護メガネ、マスク、皮手袋

見積もり基準をした危険性の評価			
重大性(B)	○ 軽微 (不休と作業3日以内)	△ 重大 (休業4日以上)	× 極めて重大 (死亡・障害が残る)
可能性(A)	○ ほとんど起こらない (5年に1回程度)	△ 起こり得る (1年に1回程度)	× 頻りに起こる (6ヶ月に1回程度)
	○ 極めて小さい	△ (かなり小さい)	× (中程度)
	△ 起こり得る (1年に1回程度)	△ (かなり小さい)	△ (かなり大きい)
	× 頻りに起こる (6ヶ月に1回程度)	× (中程度)	× (極めて重大)

危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例			
危険性の見積もり	危険性の評価	危険度	判定
××	極めて重大	5	即座に対策が必要
×△、△×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
×○、△△、○×	中程度	3	何らかの対策が必要
△○、○○	かなり小さい	2	現場では不要なし (標準作業)
○○	極めて小さい	1	対策の不要なし

作業区分	作業手順・作業内容	急所	危険ポイント			リスクの見積り			安全対策（危険度2以下へ）			リスクの再見積り		
			(～なので～になる)			(A)	(B)	リスク	(私達はこうする)			(A)	(B)	リスク
準備工	作業確認 作業の打合せ(KY)を行なう 作業員の役割(運転手、助手)を決める 作業場所及び車線を確認する 交通規制状況を確認する 使用機械、工具等の点検を行う 高所作業車の点検を行う しらすだーの動作確認及び点検を行う 車輛の配置箇所を確認する 現場内の動線を確認する 車両確認 作業車両準備 作業車両点検 出発準備 出発 規制内進入 車両移動 停止 逸走防止	作業員全員で 免許証・免許区分の確認を運転手・助手の二人で行って 上下、kp等の情報を踏まえ、作業員全員が理解できるように 必ず当日の規制簿を使用して 作業前に 手順書に則り 朝礼時に作業員全員で毎日動作確認をする 作業員全員で 作業員全員で	手順を間違えて思わぬケガをする	△	×	4	全員で手順書、KYの内容を周知する	○	○	1				
			免許区分の理解不足で、無免許運転をしてしまう	○	×	3	乗車時に必ず免許区分明示車両ステッカーを確認する	○	△	2				
			/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
			/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
			作業中に機械が故障し、思わぬケガをする	△	×	4	作業前に必ず道具、工具、機械類の点検を行う	○	○	1				
			電池切れて緊急時、逃げるのが遅れる	△	×	4	刃の可動部、連結部はレンチ等の工具にて緩みが無いことを必ず確認し、始動確認を行う。	○	○	1				
本作業	 セーフティーバイブル	25.車両回送手順書に則る	高所作業車作業手順書に則る	△	×	4	毎日動作確認をし、電池が減ったら交換する	○	○	1				
			調査などの飛散、または測定用具を現場におきわすれてしまう	△	×	4	ファイルに閉じる。現場から離脱する際は場内を確認する	○	○	1				
			/	/	/	/	/	/	/	/	/			
			規制内入場	事前打合せ、規制内入場	①ゆっくり減速して後続車に注意を促す ②入場順を守り規制内での入れ替わりをなくす ③規制内は10km～15kmくらいの低速で	急に減速して後続車に追突される 入れ替わり時車道側にはみ出て接触する 車線規制内の安全施設に衝突する	△ △ △	X X X	5 4 4	300mガード、100手前ウィンカーのルールを守り減速する 事前打ち合わせを確実に行う ルールは守り厳守、慎重に	○ ○ ○	○ △ ○	1 2 1	
			使用機器等	車両から必要機械を降ろす、照明器具を設置する	①手袋などを着用して ②手・指が挟まれに気をつける。声かけ、合図をして	①荷台から飛び降りて怪我をする ②手・指が挟まれて怪我をする	△ △	△ △	3	無理な搬出をせず、サイドカバー・タイヤ等安全な足場から車両に正対して昇降する。飛び降りない。	○	○	1	
			車両の配置		②照明を一般車向けに注意する ③使用機械は必ず事前に点検する ④高所作業車を作業範囲に配置する	①一般車が光が当たり視界不良になる 点検中突然機械が動き出してケガをする 不適な位置に設置したため作業時構造物に接触する	△ X X	×	4 5 4	点灯時移動時は必ず角度を確認する 点検修理時は必ず電源を抜いてから開始する 必ず誘導員を配置して指示に従う	○ ○ ○	○ ○ 1	1 1 1	
			既設物の撤去	固定ボルトナット撤去	高所作業車を使用して ①撤去するボルトナットは必ず作業床内で回収する ②撤去するボルトナットを切断するときは養生を確実に ③必ず2人で共同作業する（声を掛け合う） ④撤去時積埃堆積物等の清掃をする（下部道路への落下に注意する）	高所作業車作業手順書に則る 回収時外したナットが落下し一般車に当たる サンダーで切断時火の粉が飛散し一般車両が驚く 足の下に落下させたり手を挟むけがをする 撤去時、堆積物、錆等が落下して一般車両に当たる	△ X X X	X X X	4 5 5 5	高所作業車作業手順書に則る 必ず作業床を配置し隙間を作らないようにする シート養生を行い、車両の切れ目にて作業する 必ず相互に声を掛け合い思い込みで作業しない 出来るだけ作業床下での撤去を2人で行う	○ ○ ○ ○	△ ○ ○ △	2 1 1 2	
			樋を設置する	樋の固定用アンカー設置	①設置場所、アンカー打設箇所をマーキングする ②現場にあった道具を使用する、養生は確実にする ③漏水目地を確認して適切な位置に設置する ④隙間を作らないよう慎重に周囲を埋める	マーキングチョーク等が折れて落下して一般車両に当たる 上を向いて穴をあけるとき、削れずが目に入る Xに無理な姿勢で持って、腰を痛める コーキング材が多すぎで解放後材がたれ落ちて一般車両に当たる	△ X △ △	X X X	4 5 4 4	無理な姿勢で作業せず、必ず作業床の下で行う 作業時には必ず防護メガネ、マスクの装着をする 作業は必ず2人として声を掛け合い作業する 打設後ウエイト等で余分な部分は除去する	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 1	1 1 1 1	
			場内運搬 車両運搬		①長尺品なので周囲を確認してから運搬する ②高所作業車の作業床に極力置きたくない ③回送時の飛散に注意する	車両横み込み時反転した時車道側に端部が出て衝突する 狭い中での作業で体当たりケガをする 後続車に飛散物が当たる	X X X	△ △ △	4 4 5	ゆっくり慎重に2人で確認し合い慌てた作業はしない 搬下の際下場の作業員と連絡し受け渡しをする ネットを装着して周囲を確認してから出発する	○ ○ ○	○ ○ △	○ 1 2	
			本作業	清掃片付け	清掃後、作業員の忘れ物など内容注意する	掃きだしたごみ埃が車道側に出て一般車両が驚く 忘れ物から一般車が乗り上げによる事故 作業床の網目から小物が落下して後続車に当たる	△ X X	△ X X	4 4 5	上流に保安員を配置してその都度指示のもと清掃する 作業後全員で確認して、最後に責任者が確認する 作業終了後必ず清掃し目視で確認する	○ ○ ○	○ ○ 1	○ 1 1	
				廃材荷下ろし 後処理	廃材置き場で荷下ろしをする 運転日報・車両使用日報を作成する	①2人作業で行いゆっくりと丁寧に周囲を確認して作業する 責任者への報告・確認も忘れずに	X /	X /	X /	5 /	2人作業で声を掛け合い余裕をもって作業する	○ /	○ /	1 /
			特記	1人作業	原則1人作業はしない。やむ終えず1人作業をする場合は現地で	てKYを実施し、作業員同士目のつく範囲内で作業を行う。尚且つもしもの時の連絡体制を事前に構築しておく。								
パワーゲートを使用した荷台積み下ろし	パワーゲートを使い荷台にバルーン等を積み下ろし作業をする時は、積載物の落下またはゲート昇降による手の挟まれ、スライドバーの延伸による足挟まれに注意すること	①パワーゲートを昇降させるときは必ず声を掛け合図を行い、手・足が挟まれないことを確認し安全を確保してから昇降させる。 ②バルーン等のタイロックスを外す時は、必ず声を掛け合図を行い、保持を確認して安全を確保してからロックを外すこと		声掛け合図を怠り、積載物またはゲートに手足をはさまれて怪我をする	○	×	3	パワーゲートを使用する際は必ず2人以上で作業をし、ゲートの昇降をする場合は声を掛け合い挟まれないように安全を確保してから昇降させる。	○	○	1			
	台車を使用する場合	台車を使い小運搬を行う時は、台車の逸走による車両等への接触に注意すること	台車は自動ストッパー機能付とする	台車から離れた瞬間に台車が逸走し走行車両と接触する	△	△	3	使用しない時は裏向きにし、Gr外側など走行車両から遠い位置に置き。強風の場合はウェイトを置く。	○	○	1			